

全国都市改善改革実践事例発表会

ALL JAPAN

— あまがさき★14 —
Juicy



改善のたま味ができました!

日時: 2008年3月24日(月)12時45分~(開場正午)
場所: 尼崎市立労働福祉会館(阪神尼崎駅徒歩10分)

ごあいさつ

みなさん、こんにちは。尼崎市長の白井文です。

このたび、尼崎市にて、各地方自治体で取り組まれている業務改善運動の全国の優秀事例を集めた大会を開催させていただくことになりました。まずは全国から参加を表明いただいた都市のみなさまに敬意を表しますとともにご協力のお礼を申し上げます。ありがとうございます。

この大会は、全国各都市で行われております業務改善の素晴らしい取組事例を一堂に集めた大プレゼン大会で、昨年度の山形市での大会に続く、第2回目の開催となります。

尼崎市では、平成15年から「YAAるぞ運動」として、そして18年度からは「普通二改善」をテーマにした業務改善に取り組んでまいりました。実は、平成15年度当初、尼崎市におきましては財政状況が非常に厳しく、市役所全体に閉塞感が漂い、チャレンジ精神を発揮する機会や、“新しいこと”や“変えてみる”に立ち向かい、困難を乗り越えて物事を成し遂げる経験が少なくなっているなど感じておりました。

そうした中、「とにかくやる気を出してほしい」、「知恵を絞る工夫をし、お金を掛けずにやることを探してほしい」という思いで、「まずは、やりたい人でやってみましょう」とこの業務改善運動に取り組み、今や5年間で延べ393チーム、7,245人も職員が参加するなど、各職場で楽しみながら、数多くの成果をあげてまいりました。

本日開催の「ALL JAPAN - あまがさき 14 (Juicy) -」にて、全国から「知恵」と「工夫」と「やる気に満ちた」素晴らしい事例を拝見できることを心から楽しみにしております。

また今日の大会をご覧いただいた皆様におかれましては、自らの職場に持ち帰り、小さなことでも結構ですので、少しずつでも拡げていただきたいと存じます。

これからの日本をよりよくできるのは市民の皆様にもっと近い立場にいる我々自治体職員です。例えば小さな動きであっても、今回集まっていた全自治体がそれぞれ行動を起こせば、大きな動きになると思いませんか？皆さん、お互いに力を合わせて、それぞれの自治体を、そして日本を元気にしていきましょう。



尼崎市長 白井文

あまがさき 14とは

昨年度、山形市で開催された全国版改善改革実践事例発表会を引き継ぎ、全国14都市の“うま味のある(= Juicy)”改善の優秀事例を一堂に集め、全国規模で改善情報の「共有」を図るとともに、来場した全参加者が自治体の業務改善の本質に気づき、自らの職場にて、効率的な行政運営と不断の改善改革に取り組むといった「共鳴」を起こすことを目的とした大会です。

プログラム

| | |
|---------|--|
| 12:00 ~ | 開場 - YAAるぞ・アーカイブス ~ 別隊戦隊ゴミワケルンジャーFOREVER ~ - |
| 12:45 ~ | 開会 審査員・コメンテーター紹介 |
| 12:55 ~ | 事例発表 情熱と信頼の保留地販売！(区画整理1課・区画整理2課) / 改善王選手権 ~ 業革・冬の陣 ~ 代表(福井市) 売却が進まない土地区画整理事業保留地処分の推進 社会教育ナビレンジャー(社会教育部) / パリ3ダービープレ大会代表(丹波市) 生涯学習ナビを作るう ~ 市民が幸せに生活できるように ~ 柏原電気保安協会(柏原病院看護部) / かわらちよい革ダービー代表(柏原市) キレてないですよ ~ ! 節電できたら大したもんですよ。病院全体の節電を目指して。 プロジェクト“のんほい”(総合動植物公園管理事務所) / やるまいえじゃないか! スタジアム代表(豊橋市) ぬくもりある動物園をZOOっと 農村公園を变身させるゾー(農地林務課) / きたかみPing! Pong! Pang! 祭代表(北上市) みどりマンズが農村公園を救う! 行政と地域の協働! 「みどりまもり隊」が緑とみんなの憩いの場を守る フジポットへのオーナー制度導入と有料広告掲載(商工観光課) / 磐田モデルの『カイゼン運動』代表(磐田市) 磐田市の観光名所「熊野(ゆや)の長藤」を市民協働でPR! 防災服!! 劇的ピフォーアフター(防災安全課) / はながさ くらんぷり代表(山形市) “防災服”から“防災ベスト”への大改造 - 休憩 - |
| 14:10 ~ | 事例紹介 参加チームや参加都市以外の事例の紹介など |
| 14:15 ~ | 事例発表 リンスで省エネ!! 札幌発省エネ技術(新エネルギー政策課) / 元気の種コレクション代表(札幌市) 年間CO2約29万トン削減! 年間電気料金約57万円削減! そして、札幌市のイメージアップ!! コミュニケーション図り隊(環境推進課) / Tan5リンピック2007代表(京丹後市) 市役所職員間のコミュニケーションを図り、信頼関係を構築しよう! 大阪市都市整備局リンク新聞 + みんなのブログ(都市整備局事業管理担当) / カイゼン甲子園代表(大阪市) 「情報の仲介者」となれないか、「心の仲介者」となれないか 美化戦隊「クリーンエンジェルス」出動!! (子ども育成分野) / おもてなし運動発表会代表(中野区) スピーディ&クリーンな、エンジェルスのおもてなし ひねるとジャー(水道維持課) / KAIZEN事例発表会代表(静岡市) 飲料水兼用耐震性貯水槽の改良 五月病なんか吹っ飛ばせ!! (交通局管理課) / なごやカップ代表(名古屋市) 「まずは、声をかけてみよう!」 ~ 新規採用者による、お客様獲得大作戦 ~ にぎわい商店「きょうDO屋」(協働参画課) / 「普通二改善」大発表会 代表(尼崎市) 老若男女のお客様で大満足、活気ある店は地域の宝! - 休憩 - |
| 15:30 ~ | パネルディスカッション 問題提起 奥田一成氏(福岡市役所港湾局アイランドシティ誘致促進部 係長) コーディネーター 石原俊彦氏(関西学院大学専門職大学院教授) パネラー 山崎広太郎氏(前福岡市長) × 白井文(尼崎市長) |
| 16:10 ~ | 表彰 各賞表彰、審査委員長講評、改善宣言 |

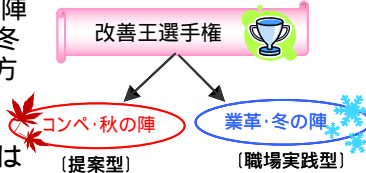
改善王選手権 ~ 業革・冬の陣 ~ since2007

運動の概要

改善王選手権は、職員のマンパワーを最大限に活用しながら、創意工夫を凝らした事業展開や業務改善を積極的に進めるため、職員提案による施策の「庁内コンペ」及び職場での業務改善や業務過程を見直す「BPR運動」を実施し、職員力の向上を図ることを目的としています。

職員提案による施策の庁内コンペを「コンペ・秋の陣（提案型）」とし、職場での業務改善実践を「業革・冬の陣（職場実践型）」として、「提案」と「実践」の両方向から「改善」にアプローチしています。

「改善王選手権」という改革改善運動の同じしくみの中で、「提案」と「実践」と両方取り組んでいるのは福井市だけです。



改善王選手権～コンペ・秋の陣～は2006年度から実施しており、今年で2回目を迎えましたが、可能な限り実現化へ努力しています。2006年度の庁内コンペで提案された「BPR運動の実施」を取り込んでバージョンアップを図り、「業革・冬の陣」が誕生しました。いざ、出陣！！



南消防署：登下校時の見守り・挨拶活動



市民課：接客方針カード等、市民サービス向上活動



| | | |
|------------|---|---|
| 都市の基礎データ | 人口 面積 | 271,062 人 (H20.1.1現在) 536.17 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 所属(課)単位だが、課内室や総合支所など実施しやすい単位で行う。基本的に1職場1改善だが、3年間で全所属実施を目指す。 | |
| 参加職場数、人数 | 79所属、93テーマ / 全所属数 約105所属、職員数2,589人 | |
| 特徴 | 1年目でもあり、職場環境を改善する取組が多かった。また冬の陣は、改善に取り組むすべての所属を「改善王」としている。 | |
| 賞 | 市長感動賞、職員感動賞をはじめ、アウトカム改善王など、すべてのチームに賞を授与 | |
| 講評者・審査員 | 石原関西学院大学教授、吉田尼崎市協働参画課長、東村市長、吹矢総務部長(現副市長) | |
| 発表会 | 2月上旬に実施 発表は希望制、市民にも公開 | |

タイトル：情熱と信頼の保留地販売！
 所属：建設部区画整理1課・区画整理2課
 発表者：山本浩隆、田辺泰一、嶋津康弘、持田陽平
 テーマ：売却が進まない土地区画整理事業保留地処分の推進

現状(課題)
 ・事業進捗のため保留地を売却する必要があるが、売却が進まない
 ・市役所で土地を販売していることが周知されていない
 ・職員の売却する努力と工夫が足りない

取組と成果
 取組み
 ・公募抽選による販売だけでなく随時販売へ
 ・チラシのデザインを親しみのある爽やかなものに変更
 ・空地を商品にするため、職員による草刈清掃＆「売地」看板設置
 ・保留地情報発信のための「現地案内板設置」
 ・職員出演のCM制作＆区画整理事務所あげでのテレビ情報番組出演

成果
 ・保留地が商品であることに対する職員の意識向上
 ・昨年売却実績比15%増の売れた保留地
 ・保留地の問い合わせ大幅増加で手ごたえ

コメント
 今後の課題は、職員の更なる意識向上や販売のノウハウ習得、PR方法の工夫、民間との差別化が必要であり、事業進捗には職員一人ひとりの情熱と信頼あるのみだと再認識した。これをさらに高めて業務に取り組み、早期に事業完了させたい。



バリ3運動/バリ3ダービー プレ大会 since2008

丹波市
TAMBA

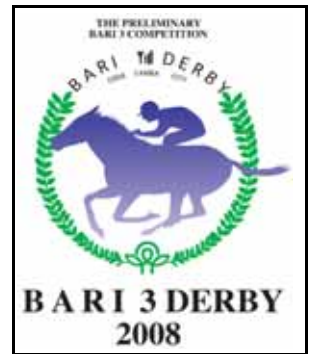
運動の概要

丹波市では、職場内自主研修グループが実行委員となって、全国で開催されている業務改善大会に足を運び、そこで受けた刺激や感銘をぜひ丹波市にも広げたいと企画しました。今年度はプレ大会と位置づけ、日常業務における小さな気づきや改善課題を、職場全体で共有、共感、共鳴し、カイゼンの輪を広げていきたいと考え取り組んできました。

バリ3(サン)とは、携帯電話の電波受信が最高の状態のことです。改善のヒントや課題に気づくには、まず他方面に意識をはりめぐらせ、その感度を上げることから始めなければなりません。つまり携帯電話でいう“アンテナが3本立っている状態”になることが改善に敏感になることであると考え、丹波市のこのカイゼン運動を「バリ3運動」とし、発表大会を「バリ3ダービー」と名付けました。

平成16年11月、旧氷上郡6町が合併した丹波市では、市のイメージスローガンを、『丹(まごころ)の里』と決めました。「丹」には、「まごころ」の意があり、市への愛着と誇りを育て、住民同士の連帯感を高め、市の振興・活性化を行っていかうという思いが込められており、今回のバリ3ダービーの発表も、職員が先頭にたって、『丹(まごころ)の里』づくりをすすめていきたいという思いが込められていました。

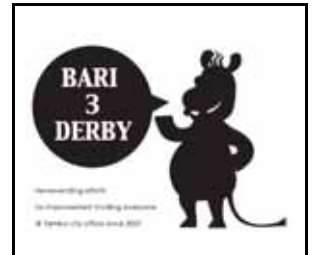
| | | |
|------------|--|------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 72,041 人(H20.1.1現在) |
| | 面積 | 493.28 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 自由参加(任意) 職場(部・課)単位で参加されたチームが多い | |
| 参加職場数、人数 | 改善発表5チーム(36人)、事例発表2人/職場数約125職場、全職員1343人(臨時・嘱託含む) | |
| 特徴 | 職場内自主研修グループによる企画立案で立ち上げられ、実行委員、発表者とも若手職員が中心となった自主運営の大会である。 | |
| 賞 | 審査員評価による表彰:バリ3賞(最優秀賞)、ちょバリ賞(優秀賞)を決定 観客審査員評価による表彰:バリバリ君賞を決定 | |
| 講評者・審査員 | 石原俊彦 関西学院大学専門職大学院教授、武久顕也 監査法人トーマツ パブリックセクターシニアマネジャー、森田多恵子 丹波少年自然の家所長、辻市長、吉住副市長 | |
| 発表会 | 今年度は、2月19日(火)にプレ大会を開催。 発表は市役所職員の公募制(個人の部、グループの部) | |



大会ロゴ



オフィシャルキャラクター
バリバリくん



スタッフウェアロゴ

タイトル : 社会教育ナビレンジャー

所属 : 兵庫県丹波市教育委員会社会教育部

発表者 : 足立恵一 仙水秀知

生涯学習ナビを作ろう

テーマ : ~市民が幸せに生活できるように~

現状 丹波市は、広大な面積であり、旧町施設を受け継いでいるため、多くの施設が点在している状況。合併後3年が経過したが、職員でさえ市内の各施設及び生涯学習事業が把握できていない現状で、市民の方々が把握できる訳がない。一目で分かる便利帳のようなものが作れないか。

取組と成果 公民館施設をはじめ社会教育部で管理している施設を「ハードナビ」、それぞれが行っている事業の内容を「ソフトナビ」にまとめて、市民の方が見ても一目で分かる生涯学習に限定したより詳しい便利帳を作成する。市民の方がこの便利帳を見て、生涯学習に取り組むきっかけ作りとなり、より充実した生活を送れる方が増える。また、市の職員も担当課に問い合わせる手間を省くことができ、スムーズに業務を行うことができる。

コメント 生涯学習に関する施設と事業をナビとしてまとめることにより、生涯学習に取り組むきっかけとなって、幸せな生活を送れる市民の方々、情報を知ることにより、スムーズに仕事のできる職員が増えることを望んでいます。「ここで生まれてよかった~」と言われるまちづくりを目指していきたいと考えています。



かしわらチョイ革運動 / チョイ革ダービー since2007

運動の概要

平成19年度より、「かしわらチョイ革運動」として

「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに
柏原でチョイとした改善・改革からやってみよう！
今すでにおこなっている工夫やアイデアを個々の職場にとどめておくことなく、他の職場にも広げましょう。
どんな職場でも、小さいことでもいいから、市民の皆様のために改善を行いましょう。

という掛け声のもと、全庁的に各職場での改善・改革の情報を共有することによって、助け合い、市役所を良くしようという改善風土を育てるために業務改善運動をスタートしました。

所属長対象の「業務改善研修」を実施した後
各職場から希望者を募り「業務改善リーダー研修」を実施し、石原教授をはじめ、山形市の松沢さん、福井市の牧田さん、尼崎市の立石さん、西村さんに講師をお願いし、業務改善を進める上でのアドバイスと、熱意による「共鳴」をいただき、盛り上がってまいりました。

| | | |
|------------|---|--|
| 都市の基礎データ | 人口 面積 | 75755 人 (H20.1.1現在) 25.39 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 職場単位の自由参加 | |
| 参加職場数、人数 | 26チーム・150人 / | |
| 特徴 | | |
| 賞 | 最優秀賞・市民サービス賞・チャレンジ賞・ドリーム賞 プレゼンテーション賞・柏原市長賞 | |
| 講評者・審査員 | 石原俊彦 関西学院大学教授 岡本市長 辰巳副市長 三浦教育長 | |
| 発表会 | 2月15日(金)に開催 職員数が少ないため業務時間外での開催 | |



タイトル : 柏原電気保安協会
所属 : 市立柏原病院 看護部
発表者 : 高橋 千富美・山元 弘美
テーマ :

キレてないですよ～！節電出来たら大したもんですよ。
病院全体の節電を目指して。



現状 (課題) 平成16年に建て替えも完成し昔の柏原病院と比較すると綺麗で数倍も明るい病院になりました。しかしながら、当院の赤字は増える一方で気分は暗く照明だけが明るくなったというのが現状です。赤字・赤字と言いつつ誰も居ない部屋や廊下などに明々と電気がつけばなしという事も多く、赤字ストップのほんの一部分にしかありませんが節電を図るために、もったいない・もったいないベテラン主婦と節約お嫁さんを目指す袖身娘が立ち上がりました。

取組と成果
目標
・1か月の電気代40万削減(10%)
・更衣室や休憩室の退出時に照明を消すように心がけている(87% 100%に改善)
・照明以外の節電を心がけている(74% 100%に改善)

結果
・前年の電気代に比較し4ヶ月で256万の節約になった。
・アンケートや新聞で節電に対する意識が変わった。

コメント
ここが良かった。
・節電に対する意識が高まった。
・節電以外の節約も考えるようになった。
ここが悪かった(足りなかった)
・無駄な照明の電球を抜く事が出来なかった。
・病院全ての職員に浸透する事が出来なかった。

やるまい ええじゃないか！ / やるまい ええじゃないか！ スタジアム since2007

運動の概要

豊橋市では、平成18年度から各職場での創意・工夫などの活動レベルにおいて、市民サービスの向上やコスト(業務効率・経費縮減など)の視点から改善に取り組む、全庁的業務改善運動「やるまい ええじゃないか！」をスタートしました。

「やるまい 1」には、前向きで積極的な気持ちを、「ええじゃないか 2」には、互いに認め合い、褒め合い、励まし合うという思いが込められています。

- 1 やるまい: 親しみやすく三河弁(「やろう」の意味)を用い、呼びかけ誘い合うという意味
- 2 ええじゃないか: 江戸時代後期に豊橋で端を発した民衆運動のように、「世直し(業務改善)を伝播(推進)していくという意味

改善運動を推進するにあたり、各職場の職員からなる実行委員会を組織し、事務局とともに業務改善ニュースの発行や職場訪問・職員インタビューなどを行い、常に業務改善を意識できるよう啓発に努めています。

毎年2月上旬には、職員の更なる改善意識の向上に結びつけるとともに、職場における改善風土の醸成を図ることを目的とした成果発表会「やるまい ええじゃないか！ スタジアム」を開催しています。

| | | |
|------------|--|------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 384,343 人 (H20.1.1現在) |
| | 面積 | 261.36 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 全職場、全職員 | |
| 参加職場数、人数 | 89課 / 全職員数3,389 | |
| 特徴 | 全職員が改善運動に取り組む | |
| 賞 | 全チーム表彰 会場賞(会場参加者の投票)、審査員賞、部門賞 | |
| 講評者・審査員 | 石原俊彦関西学院大学教授、平井勝利:トヨタ自動車(株) TQM推進部主査、小野全子:(株)オーラッド常務取締役 | |
| 発表会 | 毎年2月上旬に実施 部局報告会により選出されたチーム、市民にも公開 | |



タイトル : プロジェクト“のんほい”
 所 属 : 都市計画部 総合動植物公園管理事務所
 発表者 : 袴田祥吾 のんちゃん ほいくん
 テーマ : ぬくもりある動物園をZOOっと

現 状 園内は順路がなく、そのうえ案内看板が少ないため
 (課題) どこにどの動物がいるのかわかりづらい
 動物が活き活きと過ごせるように、展示の工夫が必要である

取組と 成 果 KEYWORD“お客様サービスの向上”
 手作り看板
 飼育員お手製で案内看板を作成。案内看板が増え、お客様からの評判も良い。またお手製でつくことで、親しみのある看板となり、同時にコスト削減にもつながった。
 手作り遊具
 動物の展示場に、廃棄される予定の遊具を設置。動物の動きが増え、動物にとって良い効果が現れると同時にお客様に動物の活き活きとした姿をみせられるようになった。



コメント 案内看板の充実や動物の展示の工夫など「お客様サービスの向上」は動物園を運営する上で非常に重要なことと考えている。飼育員をはじめとする職員は、常日頃よりお客様の視点にたって、サービスの向上を心掛けており、今回の改善をさらに推進していくとともに、今後も新しい取組みをどんどん増やしていきたい。我々の改善に終わりはない！！

きたかみPing!Pong!Pang!運動 / Ping!Pong!Pang!祭 since2006

運動の概要

「きたかみPing!Pong!Pang!運動」とは、北上市の各職場・各職員がそれぞれ担当する業務において、業務の効率化、市民サービスの向上を目指して取り組む全庁的な業務改善改革実践運動です。

Ping!Pong!Pang!とは、
Ping!・・・仕事の改善点に「ピン」と気が付く人材づくり
Pong!・・・アイデアを「ポン」と出せる気軽に話せる環境づくり
Pang!・・・思わず「パン」と手を叩く改善内容を目指しています。

運動の推進体制としては、職員公募による推進委員会を組織し、改善運動の普及・啓発活動、優秀事例発表会である「きたかみPing!Pong!Pang!祭」の企画・運営・実行にあたっており、改善運動の大きな原動力となっています。

今年度は、1月25日に「第2回きたかみPing!Pong!Pang!祭」を開催し、部内審査を経た13チームがプレゼンテーションを実施。ステージでの発表以外にも全事例を対象とした報告書の掲示・参加者投票を行い、多くの情報共有の場としました。



シンボルマーク



| | | |
|------------|---|------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 93,908 人 (H20.1.1現在) |
| | 面積 | 437.55 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 基本的に職場単位 自由参加(任意) | |
| 参加職場数、人数 | 56課等、75事例 / 職員数685人 | |
| 特徴 | 職員公募により組織した業務改善推進委員会が、運動の推進役となっている | |
| 賞 | Ping!Pong!Pang!大賞、Ping!Pong!Pang!賞、オーディエンス賞、優秀賞、ロビーズベスト賞、ナイスデザイン賞 | |
| 講評者・審査員 | 石原俊彦氏(関西学院大学教授)、市行政改革懇談会会長、民間事例発表企業、北上市長 | |
| 発表会 | 1月下旬に実施、部内審査を経て発表事例を決定、今年度は市内民間企業の事例発表実施、一般公開あり | |

タイトル : 農村公園を变身させるゾー
所属 : 農林部農地林務課農村整備係
発表者 : 阿部 哲也

現状 (課題) 市内に14箇所ある農村公園。維持管理は地域に委託しているが、地域では限界がある上、管理予算も年々減少。年数の経過とともに景観が悪くなってきている。

テーマ : みどりマンズが農村公園を救う！
行政と地域の協働！
「みどりまもり隊」が
緑とみんなの憩いの場を守る！

取組と成果 取り組み 地域と市農地林務課が「みどりまもり隊」を編成し、遊具の清掃・草刈り・低木剪定等といった農村公園の維持管理作業を実施した。



成果
・地域に任せきりにせず、一緒になって管理を行うことにより、詳細な現状把握が可能となり、環境改善につながる。
・普段の維持管理ではできない剪定等の作業ができ、業務委託費の節減になった。
・多くの参加があり、憩いの場としての農村公園をアピールできた。

コメント 行政と地域が互いに役割分担をして、農村公園の景観改善に取り組む協働事業です。共に汗を流すことで、その後の管理意識も変わります。今後も、市内各地で活動を続けていきます！

磐田モデルの「カイゼン運動」 since2006

磐田市
IWATA

運動の概要

磐田市では、平成18年度より「行財政改革」で市役所を大きく変えるとともに、職員の創意工夫で、日々の業務をよりよいものに変えていくため、全庁的な「カイゼン運動」を推進しています。

取り組みの総称はシンプルに「カイゼン運動」とし、右図の「ミチガエルくん」をマスコットキャラにして改善事例の共有と改善に取り組む組織風土の醸成を図り、もって市民サービス向上、事務効率化、経費節減に全職員で取り組んでいます。

年度末には成果発表の場として「カイゼン発表会2008」と「一係一改善運動表彰式」を開催。「簡単で、わかりやすく、おもしろい」をモットーに、県内外の自治体や民間企業の担当者を含む約250人が見守る会場で事例発表や表彰を行いました。

行革とカイゼンの連携(取組対象・取組で目指す効果・取り組みの期間)

| | | | |
|---------------|------|----------|------|
| 大変 = 「行財政改革」 | 全庁的に | 大きな効果・革新 | 数年間 |
| 中変 = 「一係一改善」 | 係単位で | ある程度の効果 | 半年程度 |
| 小変 = 「改善報告制度」 | 職員個々 | ちょっとした改善 | 毎日 |



| | | |
|------------|---------------------------------------|------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 176,905 人 (H20.1.1現在) |
| | 面積 | 164.08 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 改善報告制度……全職員(毎月一人一件提出が目標) | |
| | 一係一改善運動……全係(毎年一係一改善が目標) | |
| 参加職場数、人数 | 改善報告制度……全職員、約1,400人 | |
| | 一係一改善運動……全係(施設・園)、約150 | |
| 特徴 | 全職員参加で年間8,243件(一人当たり5.74件)の改善実施 | |
| 賞 | 改善奨励賞ほか右図の表彰状などを授与 記念品あり(奨励金なし) | |
| 講評者・審査員 | 部局長推薦、M/K(もっとも・印象に残る・カイゼン)職員投票などにより選出 | |
| 発表会 | 毎年1月中旬、市民にも公開 | |

*****表彰状*****
不便は改善のハハ賞
 手間ヒマいらず、
 チョー簡単に
 まちがえない化の
 工夫を称え、さらなる改善を期待
 国保年金課
 ○○○○ 殿

タイトル : フジポットへのオーナー制度導入と有料広告掲載

所 属 : 産業振興部商工観光課商業観光係

発表者 : 戸田 智浩

テーマ : 磐田市の観光名所「熊野の長藤」を市民協働でPR!

現 状 磐田市の観光名所「熊野の長藤」をPRするため、63(課題)のフジポットを市が管理し、春の開花時期に市内各所でPR展開している。しかし、樹木の維持経費が年間で約60万円かかっている。



推定樹齢800年!!
 国指定天然記念物の
 「熊野(ゆや)の長藤」

フジポットは、コンクリート製の植木鉢に植えた藤です



取組と成果 「フジポット・オーナー制度」を試験的に19年度に導入し、10オーナーが誕生した。(20年2月には全的に公募し、15ポット分のオーナーが誕生する予定。) また、市で管理するポットのうち広告事業に適すると考えられるポットの側面部分へ有料広告を掲出するよう取り組みを進めている。 本改善は、企業及び市民との協働により進められ、オーナー制度による維持管理経費の縮減と有料広告による事業実施に関する財源確保が図られる。

コメント 各課ごと効果的な一係一改善提案及び実施が行われた中で、本事業は、市民との協働を主体としており、オーナー制度としての取り組みにおいて効果が大きい。 また、行財政改革を踏まえ、いち早く有料広告事業を行ったことと併せて評価する。(産業振興部長)

はながさ ぐらんぷり since2005

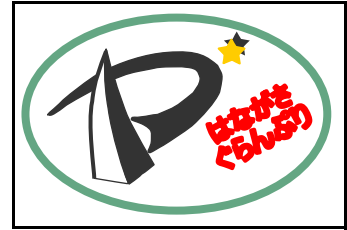
山形市
YAMAGATA

運動の概要

山形市では、平成16年度より、「仕事の検証システム」という名称で、行政評価システムに取り組んでいます。これは、自分たちが取り組んだ仕事を、きちんと検証し、日常的に改善改革に取り組むことで、より効果的で、効率的な行政運営を目指していこうと考えたためです。

この一連の活動により、少しずつ職員の意識が高まり、多くの職場で、さまざまな改善改革の取組みが実践されることになりました。そこで、これらの取組みを全庁的に共有するとともに、成果を挙げた職員を顕彰することで、より一層、職員のやる気を喚起していこうと考え、平成17年度より改善改革実践事例発表会「はながさ ぐらんぷり」を開催することになりました。

3年目を迎える今年度は、初の試みとして、発表を行う優秀事例の選考を各部で実施しました。これにより、改善改革に関する部内でのコミュニケーション強化が図られるとともに、部間における、いい意味での競争意識が芽生え、改善改革に対する意識が、より一層高まることとなりました。この意識の高まりを、一過性のものとせず、これからも「日々是改善」に取り組んでいきたいと考えています。



| | |
|------------|---|
| 都市の基礎データ | 人口 255,370 人 (H20.1.1現在) 面積 381.58 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 課及び施設単位。 各部で優秀事例の選考を行い、部代表により発表会開催 |
| 参加職場数、人数 | エントリー数、78組織 / 発表 15組織 (36名参加) 職場数 119、全職員数2,435人 |
| 特徴 | 部を代表する優秀事例による発表会 公募職員により構成された実行委員会が企画運営 |
| 賞 | 部長のポケットマネーで各賞の副賞を準備。 参加者の投票により、グランプリ・準グランプリを決定。 |
| 講評者・審査員 | 講評者：市長 審査員：全参加者 |
| 発表会 | 毎年、1月前後に開催 各部を代表する15事例による発表会 |

タイトル： 防災服!!劇的ピフォーアフター
所属： 総務部防災安全課
発表者： 長谷川昌儀・沼澤清志・三浦和城・矢口明日香
テーマ： "防災服"から
"防災ベスト"への大改造

現状 (課題) 災害対策本部員等に、オーダーメイドの防災服を貸与。そのため、人事異動のたびに、新規貸与品を準備する必要があった。

取組と成果 【取組】
防災服一式を防災ベストと防災キャップに改める。
防災ベストは後任者へ引継ぎ、防災キャップのみを新規に貸与することとした。



【成果】
人事異動に伴う新規貸与品を防災キャップのみにしたことで、毎年20万程度のコスト削減を実現。また、防災ベスト導入により機能性も向上。

コメント 山形市独自の取組みで、恐らく全国でも初めてとなる改善事例です。
まさに、防災ベストは、我々に劇的な改善改革をもたらしました。
しかし、私たちが一番に望むことは、防災ベストを必要としない安全安心なまちづくり。誰もが安心して暮らせる山形市となるように、これからも日々改善に取り組んでいきます。

元気の種コレクション

since2005

札幌市
SAPPORO

運動の概要

各局区や職員同士のグループによる、職員の創意工夫の取組は、札幌を元気にする「種」です。その種を他の職場へ「株分け」することで、さらにその種が芽を出し、花を咲かせ、実をつける・・・「種コレ」は、職員の創意工夫による先進事例などを広く共有し、各職場において取り入れるきっかけとするための発表会です。Collectには、(元気を)取り戻す、(考えを)まとめる、といった意味もあるそうです。「種コレ」で共有された元気の種が、それぞれの職場で実を結び、職場も職員も元気になることを願って開催しています。

今年度は、小さな工夫も共有したいという実行委員の発案で、当日の発表は行わないけれども、プログラムに取組事例を載せ紹介する「プチ種コレ」を新たに実施したり、多くの職員に興味を持ってもらうため、庁内イントラ用の動画CMの作成や「種コレ川柳」を募集したりと運営方法にも工夫を凝らして実施しました。

当日は、障がい者団体、市立高等専門学校とともに、「案内表示の改善」と「障害のある方の社会参加の促進」を目指し、区役所の案内サインを検討した事例で、障がい者団体の方が一緒に発表されたり、2つの区と一緒に取り組んだ事例の発表があったりと、新しい展開が生まれた発表会となりました。その中から、全国はもちろん、海外からの問い合わせもあり、成果も話題性もバツグンの「**リンスで省エネ！！札幌発省エネ技術**」の発表を、全国大会にお届けします！



| | |
|------------|--|
| 都市の基礎データ | 人口 1,895,882 人 (H20.1.1現在) |
| | 面積 1121.12 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 各局・区単位で取りまとめたものと、個人・グループによるものの2つの区分で募集。自由参加。 |
| 参加職場数、人数 | 発表：18チーム。発表者数：約80名。来場者数：約360名。 |
| 特徴 | 区役所の参加が活発。今年度は、消防吏員や交通局乗務員も始めて参加。 |
| 賞 | 全チームに賞状授与。今年は制限時間内で最も5分に近いチームへ「タイムオブザイヤー」賞をサプライズで授与。 |
| 講評者・審査員 | 所管事務と関連の深い事例数チームごとに、副市長(3名)又は局長(2名)から講評。最後に上田市長から全体講評。 |
| 発表会 | 毎年1回開催。今年は、市役所の仕事に興味を持つ市内大学生や、QCサークル活動を行っている企業等が参加。 |



タイトル：リンスで省エネ！！札幌発 省エネ技術
 所属：環境局 新エネルギー政策課
 発表者：田中 壽夫
 テーマ：年間CO2約29万トン削減！
 年間電力料金約57万円削減！
 そして、札幌市のイメージアップ！！

現状 平成16年に札幌市と(独)産業技術総合研究所は、(課題) 省エネ・新エネルギーの先進的な実験を行う基本協定を結び、実験できる施設を探していました。

取組と 庁舎管理課の協力を得て、札幌市本庁舎の冷暖房
 成果 装置で、共同実験を実施。リンスと類似した成分の薬剤を用いた省エネルギー技術で、冷温水ポンプの電力を冬季も65%低減できました。これは、電力料金の年間約57万円削減、約29万トンの二酸化炭素削減に相当します。

この成果は、全国のマスコミにも何度も取り上げられ、札幌市の環境への取組のイメージアップにつながりました。(全国からの問い合わせ100件以上。)



コメント 埋もれていた画期的な省エネ技術を掘り起こし、大きな効果を得ました。市役所本庁舎、という場所で実験できたことで、マスコミ等の関心も高くなったと思います。

省エネは、地球にも、財布にもやさしい！
 これからも職員みんなで・・・

目指せ！環境首都さっぽろ！！

運動の概要

【TAN5リンピックとは】

TAN5リンピックとは、京丹後市行政が関わるすべての業務を対象に、改革・改善の実践を全庁的に取り組んでいこうとする取り組みです。この取り組みを、『全庁的業務改革改善運動』と呼び、TAN5リンピックはその通称名です。

【理念】

TAN5リンピックの理念は、京丹後市に勤務するすべての職員の自主的・主体的な取り組みを奨励し、個々の職員の力を結集して、全庁的な取り組みとして業務改革・改善を行い、本市の行財政改革を力強く推進することにあります。

【目的】

TAN5リンピックの目的は、全職員が自らの仕事の価値と意味を認識し、職場環境や業務プロセスにおける課題を見つけるとともに、自ら積極的に課題の解決に取り組む、業務等の改革改善につなげることにあります。

また、この取り組みを通じて、職場環境や業務プロセスの改善による職員の満足度を高め、市組織の風土を成熟化し、市民への価値を提供し続ける組織に変革していくことにあります。

| | | |
|------------|---|------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 63,204 人(H20.1.1現在) |
| | 面積 | 501.84 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 基本的に職場(部または課)や施設単位 自由参加(任意) | |
| 参加職場数、人数 | 14チーム、232人 / 職場数:約160、全職員数:1,161人 | |
| 特徴 | 消防署や病院といった出先機関の積極的な参加が目立つ | |
| 賞 | 職員投票により、最優秀賞、優秀賞、特別奨励賞を決定 | |
| 講評者・審査員 | 職員 | |
| 発表会 | 庁内ウェブサイト上にパワーポイントで作成した各チームの発表資料を掲載、HPで市民にも公開(3月上旬に実施) | |

TAN5リンピック



消防本部の取り組み



峰山市民局市民福祉課の取り組み



大宮市民局地域事業課の取り組み

タイトル : コミュニケーション図り隊
 所属 : 生活環境部 環境推進課
 発表者 : 永島 一陽(代理:行財政改革推進
 テーマ : 市役所職員間のコミュニケーションを図り、信頼関係を構築しよう!

現状 (課題) 合併から4年が経過しようとしている現在でも、面識のない職員が多数存在
 同じ市の職員とは言え、面識がないため仕事が頼みづらい雰囲気があった

取組と成果 仕事ををお願いする職員に対し顔と名前を覚えてもらうため、写真付き署名メールを送り始めたところ、賛同者が次々出現。多くの職員が写真付き署名メールを活用するようになった。
 写真付き署名メールの普及により、「仕事を気軽に頼み頼まれる関係」が構築された。
 職員間の信頼関係の構築により、仕事をスムーズに進められるようになった(業務効率の向上につながった)。

コメント 職員間の信頼関係の必要性を改めて考えさせられる機会となり、これからも積極的なコミュニケーションに心がけていきたいと思えます。
 また、このような取り組みが全庁的に広がり、職員間の信頼関係が強まっていくことを期待します(目指す姿としては、部局横断的な業務執行による機動的な市役所の実現です)。



大阪市職場改善運動 / カイゼン甲子園 since2005

大阪市
OSAKA

運動の概要

大阪市の職場改善運動は、職員が主体的に取り組む「職員の手による改善運動」を目指して、平成17年7月、市長の開幕宣言からスタートしました。職員一人ひとりが自分の仕事をもう一度見つめなおして課題を自ら発見すること、そして実務を担う職員がリーダーとなって職場全体で議論し、創意工夫を凝らして改善し続けるムードを高めていくことを目標にしています。

職場改善運動も3年目となり、所属予選でプレゼンテーション審査を実施する局や区役所も増えてきました。また、所属情報紙などでカイゼンが取り上げられるケースも増え、改善風土が定着してきています。

また、さる2月15日(金)には職場改善運動事例発表会である第3回「カイゼン甲子園」が開催されました。全420チームのエントリーの中から所属予選、センバツ選考を勝ち抜いた13チームが日頃のカイゼンの成果を披露しました。

今後、改善事例の共有を促進するとともに、職員一人ひとりの意識を高め、さらなるカイゼンを追求していきます。

| | | |
|------------|---|-------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 2,644,683 人 (H20.2.1現在) |
| | 面積 | 222.11 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 担当、事業所単位以上 自主参加、各所属でエントリーを管理 | |
| 参加職場数、人数 | 420チーム / 全職員数42,994人 (H19.4.1現在) | |
| 特徴 | 地道な取り組みあり、ユニークな改善あり、非常に多様性に富んでいること | |
| 賞 | グランプリ、優秀局・室賞、優秀区役所賞、市長特別賞など 上位チームを表彰 | |
| 講評者・審査員 | 平松市長、井越副市長、柏木副市長 ほか外部有識者3名 | |
| 発表会 | 毎年1～2月に開催 所属予選、センバツ選考を通過した約13チームが発表 | |



タイトル : 大阪市都市整備局リンク新聞 + みんなのブログ

所属 : 大阪市都市整備局企画部事業管理担当

発表者 : 榊原 幸一 根来 雅和 植田 和代

テーマ : 「情報の仲介者」となれないか
「心の仲介者」となれないか

現状 (課題) ・あふれる情報、確認すべき大量のホームページ。しかも確認していないほうが悪いとの風潮。
・当市は改革の途上であり、職員の中には、ストレス等に悩まされることもある。

取組と成果

- 1 取組み1
内部LANで閲覧できるWeb新聞を作成。職員として確認すべきHPのリンクを貼り、コメント記載。
- 2 成果1
(1)新制度について職員にわかりやすく広報
(2)情報公開など自分の組織で起こっている事も、把握が困難であったが共有化が図れた。
- 3 取組み2
交換日記風ブログを開設。業務に関係ある、前向きな話を持ち回りで書いていくというもの。
- 4 成果2
メンバーの業務の共有化が図れ、仕事に対する思いも共有・共感できた。

コメント 情報をどうキャッチし発信していくかは、市民への説明責任を果たすといった意味からも重要と考えている。また、職員のスキル・モチベーションアップは人材という資源を有効に活用することにつながり、結果として市民に還元することができると信じている。



運動の概要

◆おもてなし運動は、
「職員の主体的な取り組みによって、組織及び職員を活性化し、中野区に関わる一人ひとりにとって満足度の高い区役所を作る」ため、区長が委員長となって平成16年度より始めました。

行動目標

お お客様一人ひとりの身になって一歩踏み込んで考えます
も 目標に向かって、持てる力を最大限に発揮します
て 手際よく丁寧な対応に徹します
な 何事もわかりやすく責任を持って説明します
し 新鮮かつ柔軟な発想で取り組みます

◆各職場で「おもてなし実践プラン」を策定し、おもてなしマネージャー（統括管理者）・リーダー（執行責任者）が中心となって、運動を推進。発表会では、公募により選ばれた職場が実践プランの取り組みを発表し、職員、区民、他自治体、採用内定者等の投票により大賞を決定します。また、区で作成したポスター・チラシコンテストを同時開催しています。

◆運動のPRのため毎年「おもてなしCM」を作成し、講演会や発表会で流しています。（区HPでも公開中！！）

| | |
|------------|--|
| 都市の基礎データ | 人口 310,420 人(H20.1.1現在) 面積 15.59 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 職場・施設単位、合同も可 全ての職場にプラン策定を依頼する |
| 参加職場数、人数 | 121職場(約2,000人)が実践プランを作成、5職場が発表 |
| 特徴 | 19年度は職場内外の連携を重視したり、庁外へも発信したりする取り組みが目立った。取り組み～発表まで若手が活躍。 |
| 賞 | 「おもてなし大賞」「ポスター・チラシ大賞」各1職場。 その他、行動目標に添った5つの賞を全発表職場に授与。 |
| 講評者・審査員 | 区長、副区長、会場の皆様(区民、職員、他自治体) コメンテーター:横浜市、所沢市 |
| 発表会 | 毎年2月初旬に実施。発表職場は公募(自薦他薦問わず)。区民、近隣の市区へも参加を呼びかける。 |



ポスター・チラシ大賞(人事分野)
「職員採用パンフレット」



発表会風景

タイトル : 美化戦隊「クリーンエンジェルス」出動！！
所属 : 子ども家庭部 子ども育成分野
発表者 : 小原佐智子 大島萌子
テーマ : スピーディー＆クリーンな、エンジェルスのおもてなし☆☆

現状 (課題) ○お客様からの後日の問い合わせに、スムーズに対応できていなかった。
○カウンター周辺や職場内で、雑然とした環境が常態化していた。

取組と成果 ○「分野共通名刺」を作成。名刺に受付日・用件・担当者を明記して渡すことにした。
⇒お客様が後日問い合わせをしてきた際、話の分かる担当者への引継ぎがスピーディーに！
○毎月、クリーンエンジェルスによる職場内の環境点検を実施。
⇒スッキリとしたカウンター・職場環境を実現。
⇒無駄なポスター・チラシが無くなる。
⇒分野職員全員の美化意識向上。



コメント 環境点検員を「クリーンエンジェルス」と名付けたことで子ども育成分野のおもてなし活動が一気に盛り上がり、楽しみながらおもてなしについて考える空気が生まれた。

業務改善提案制度 / KAIZEN事例発表会 since2003

静岡市
SHIZUOKA

運動の概要

静岡市は平成15年に旧静岡市と旧清水市が合併して新市“静岡市”が誕生し、この新市誕生とともにこの制度も新たなスタートをきりました。

平成17年政令市移行後、毎年度少しずつではありますが変革を遂げ、今年度は「一課一改善運動」を目指して提案を募り、初めて公開でのKAIZEN事例発表会を実施し、市長以下参加者や提案者に好評を博しました。また、審査には各課職員の投票結果を盛り込むなど、幅広い意見を参考にするとともに、より多くの方に関わってもらうことで、改善意識を萌芽させる土壌の育成を狙いました。

まだまだ運動の規模としては小さく、生真面目すぎるところがあるので、来年度以降は「遊び心」を持って、さらに多くのグループが参加できるような運動に進化させていきたいと考えています。

| | | |
|------------|---|--------------------------|
| 都市の基礎データ | 人口 | 720,351 人 (H20.1.1現在) |
| | 面積 | 1,388.78 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 個人、グループ、施設、所属 自由参加 | |
| 参加職場数、人数 | 改善:30グループ アイデア:60人 全職員数6,489人(H19.4.1) | |
| 特徴 | 区役所・動物園等、市民が多く訪れる職場からの提案、若手職員の活躍が目立つ。市のイメージアップに繋がる提案が増加中。 | |
| 賞 | 金賞、銀賞、銅賞、奨励賞 賞状と規程に基づく褒賞金の授与 | |
| 講評者・審査員 | 市長、副市長、教育長、公営企業管理者、局長級職員、行革担当部課長、各課行財政改革推進主任者 | |
| 発表会 | 発表会としては平成19年度から実施(平成20年3月17日) 庁内テレビ中継を実施 | |



ヒラメキくん

タイトル : ひねるとジャー
所属 : 企業局水道部水道維持課
発表者 : 栗原賢司 滝戸一憲
テーマ : 飲料水兼用耐震性貯水槽の改良

現状 (課題) 重さ70kgの重い蓋を開け手動ポンプ等を格納庫から取り出し設置するのは大変な作業で、設置・給水までに20分を要していた。

取組と成果 【業務能率向上、市民サービスの向上】
耐震材の給水管を最寄りの支障ない場所まで地中配管し、その場所の手動ポンプと給水器具を常設することで、自主防災会の作業負担が安全かつ軽減化され、いざという時にたった30秒で給水可能となった。
【経費節減】
毎年度の合同操作訓練が不要となり、派遣職員の人件費節減が図れた。



給水まで20分間!?



すっきり～

たった30秒に短縮!!



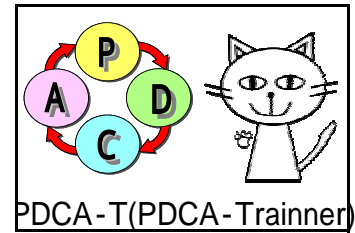
コメント 従来から東海大地震の恐怖にさらされており、常日頃から地域と行政が連携して、様々な訓練を行っているが、いざとなれば、地域で問題を解決しなければならない状況に陥ることもある。今回の改良で誰もが安全かつ簡単に操作できるようになったことで、住民のライフライン確保の一躍を担ったといえる。

すみやか業務改善運動 / なごやかカップ since2003

運動の概要

「すみやか」とは「すばやく みんなで やります！ かわります！」の略で、市民ニーズを的確にとらえ、市民サービスの向上やコスト削減を図り、職員みんなで市民の立場に立った「市民のための市役所」をめざすことを目的とした運動です。

1. 草の根業務改善運動
「市民に喜ばれる」、「スムーズに仕事ができる」、「経費を節約できる」の視点で、各職場において自主的に業務改善に取り組みます。
2. 同区横断業務改善チーム
局や区単独では解決が困難な課題について、公募の職員と所管課の職員が局区の垣根を超えた協力体制を作り、全市的な業務改善に取り組みます。
3. なごやかカップ
職員の意欲あふれる改善事例の発表、他組織の先進的な取り組みに触れることにより、改善の「マインド」と「手法」を全庁的に共有します。
4. PDCAサイクル研修
仕事の質を向上させるための具体的な進め方である「PDCAサイクル」の研修を各基本研修に導入するなど、更なる改善のレベルアップを図ります。



| | |
|------------|---|
| 都市の基礎データ | 人口 2,240,000 人 (H20.1.1現在) 面積 326.45 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 職場(課)や施設単位 「職場かいぜんシート」を利用し、年間を通じた改善に取り組む。 |
| 参加職場数、人数 | 取組件数: 622件 職員投票参加者数: 14,395人 (全職員数: 27,000人) |
| 特徴 | 全職員参加型の投票により、なごやかカップに出場する優秀事例を選出。地味で真面目な発表が多く、笑いが少ない。(石原教授談)。 |
| 賞 | 最優秀賞(なごやかカップ)、優秀賞、推進賞、市長感動賞 2007年より、なごやかカップ出場チームは全チーム表彰 |
| 講評者・審査員 | 石原関西学院大学教授、栗岡トヨタ自動車株式会社相談役、白石名古屋市政策参与、松原市長、塚本副市長、伊藤総務局理事 |
| 発表会 | 毎年12月中旬に実施。全職員による投票で選ばれた優秀事例や、新規職員によるフレッシュな改善を発表。市民にも公開。 |

タイトル : 五月病なんか吹っ飛ばせ!
 所属 : 名古屋市交通局自動車部管理課
 発表者 : 宗田和彦 近藤博之 近藤佐和 河合雅之
 テーマ : 『まずは、声をかけてみよう!』
 ~ 新規採用者による、お客様獲得大作戦 ~

現状 「交通局への配属は予想外!」「企業局の独立採算制って?」「公所が多く、新規採用者同士が知り合う機会が少ない」「電話や電子メールのみに頼ったコミュニケーション」 新規採用者の不安や戸惑い

取組と成果 <取組>
 新規採用者同士の仲間作りの機会をつくり、不安や戸惑いを早期に解消するとともに、交通局の最大の収入源である「お客さま」獲得の大切さ、大変さを理解させるため、入局直後の4月~5月に、新規採用者全員が参加する市バスの乗客誘致活動を実施した。
 <成果>
 「仲間意識が生まれ、コミュニケーションがとりやすくなった」「うまくPRできた!」「交通局に対する市民の安心感や信頼の大きさ、職員としての責任の大きさを認識」 交通局職員としての自信と自覚

コメント 平成20年5月、都心ループバスは運行開始10周年を迎えます。私たちは、これを契機に、都心ループバスの更なる利用者増を目指して、PR活動を続けていく考えです。
 また、来年度からは、前年度の新規採用職員が、自分達の経験やアイデアを、後輩へと、伝えていく活動にしていきたい、と考えています。



全庁的の改革改善運動 2ndステージ / 「普通二改善」大発表会 since2003

尼崎市
AMAGASAKI

運動の概要

尼崎市では平成15年度より改革改善に向けた職員の意識改革、チャレンジし続ける職場風土の醸成を目指し、「全庁的の改革改善運動」に取り組んできました。

名称は当時の施政方針「夢・アシスト・あまがさき」の頭文字Y、A、Aを用い、改革改善を「やるぞ」、改革改善することが「あるぞ」、という思いを込めて「YAA(やあ)るぞ運動」と名付け、平成17年度までの3年間で延べ253チーム、4000人を超える職員が参加いたしました。

平成18年度からは、それまでの運動の成果と反省をもとに、次の段階を目指して、名称を2ndステージと変更し、テーマも「『普』段から『通』常業務で『二』ーズを考へ工夫『改善』」(普通二改善)とリニューアルいたしました。

今年度は2月1日に、成果発表会「普通二改善」大発表会 を開催。1年間、テーマに即し、地道ながらも成果をあげた全9チームが、各局代表として、それぞれのチームの内容を発表しました。発表する側も見る側も楽しくをモットーに、参加した全職員が取組を見て、認め、褒め、称えあう場として、毎年開催しています。



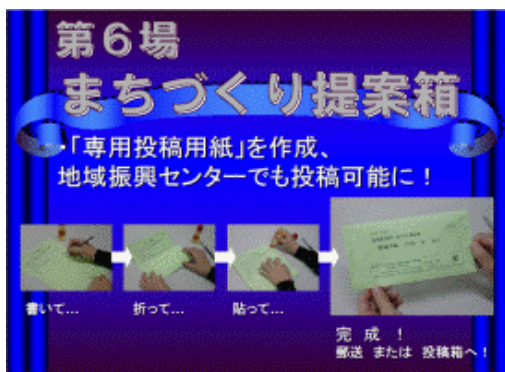
| | |
|------------|--|
| 都市の基礎データ | 人口 461,202 人 (H20.1.1現在) 面積 49.80 km ² |
| 運動の参加単位、方法 | 基本的に職場(課)や施設単位 自由参加(任意) |
| 参加職場数、人数 | 51チーム、1,043人(H19) / 職場数約200職場、全職員数3,664人 |
| 特徴 | 保育所、消防署、支所市民課など、市民に最も近い職場での活躍が目立つ |
| 賞 | 職員表彰規定に基づく記念品あり。 全チームを表彰 |
| 講評者・審査員 | 石原関西学院大学教授、橋本(株)ダスキン人事労務室長、 白井市長、中村副市長、江川副市長 |
| 発表会 | 平成20年2月1日に実施 発表は希望制。市民にも公開 |



タイトル : にぎわい商店「きょうDO屋」
所 属 : 企画財政局 協働参画課
発表者 : 脇本直子 後藤健太郎 西村邦子
テーマ : 老若男女のお客様で大満足、活気ある店は地域の宝!

現 状 (課題) 車座集会。出前講座など、市民の知名度が低く、利用者が固定化傾向にある事業が存在する
市民から見て利用しにくい事業の存在
市職員の意識改革
...など通常業務の中に課題が見受けられた。

取組と成果 ショッピングセンターや企業、大学との協働により気軽に参加できる車座集会に。初参加、若い世代の参加が増加。
担当課で分類していた出前講座のテーマを市民の目線で内容で再編。過去最高回数を達成。
市長室オープントークを平日の夜間に開催。新たな参加者の掘り起しに繋がった。
市職員が協働を体験する「汗かき隊」は単発の「ちょこっとボランティア(ちょこボラ)」を呼びかけ、隊員が増加(15 30 46名)
...など各担当者が自らの業務について工夫を行った(15事例)



コメント 「普段当たり前と思ってやっていることを『不便だな』と気付くことが大発明(改善)につながる...」。「当たり前」と思わず、小さな気付きを大切にしていきたい。

JUICY各団体事務局

ー業務改善については私たちに相談くださいー



札幌市
市政推進室
前田真子
札幌の好きなトコ
「空、ほどほどの雪、
公園、祭、スイー
ツ…書きたい〜」



北上市
政策企画課
高橋直子
特技
「ファシリテーショ
ンと飲みニケー
ション」



山形市
企画調整課
松沢 聖
近況
「山形の小林旭
は、毎週開学ま
で通学中です。」



山形市
企画調整課
後藤好邦
近況
「仕事も人生も
『日々は改善』中
です。」



中野区
評価改善分野
宮本志穂
近況
「公私共におも
てなし実施
中！」



静岡市
都市経営課
鈴木 桂
近況
「甥と姪、二人
のおばさんに
なりました」



磐田市
行革推進室
寺田展章
好きなこと等
「釣り、カツ丼」



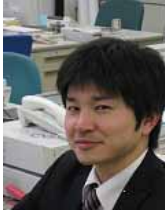
豊橋市
政策調整課
鈴木誠也
近況
「改善運動3
年目に向けて
奮闘中！」



名古屋市
人材開発室
西浦志乃
正体
「なごやかッ
のDVDの声
は私です」



福井市
政策調整室
牧田美佐穂
近況
「最近引っ越し
しました」



京丹後市
行財政改革推進課
永島一陽
近況
「花粉症どないか
してください」



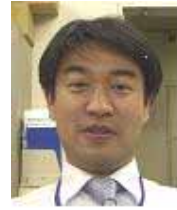
大阪市
市政改革室
井上典一
近況
「写真屋に行
かれませんでした」



大阪市
市政改革室
北風敏幸
近況
「自律神経失
調症になりました」



柏原市
人事課
堅木康弘
近況
「五男が歩き
始めました！」



柏原市
会計管理室
木村昭興
近況
「やる気満々
の大学院生」



丹波市
柏原支所
藤原 勇
近況
「最近2kgやせ
ました」



尼崎市
調整課
立石 孝裕
好きな言葉
「仕事と思
うな、人生と思
え」



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
政策研究事業本
部(大阪)
江口雅祥
感謝
「まいど、おおき
に」



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
政策研究事業本
部(大阪)
島崎耕一
「去年の写真で
すみません」

JUICY大会運営STAFF

江上昇(健康福祉局総務課) / 立石由起江(七松保育所) / 玉木喜博(都市計画課) / 鄭英柱(開発課)
 小山権治(住宅政策課) / 本多矢寿子(税務管理課) / 岩本恭明(広報課) / 萬田恵理子(生活安全課)
 五百蔵操(情報政策課) / 阿部めぐみ(情報政策課) / 庄本典子(大西保育所)
 石田善紀(大庄地域振興センター) / 西山善規(消防局総務課) / 梶本修司(業務課) / 河野裕行(議事課)
 中村直樹(企画財政局総務課) / 立石孝裕(調整課) / 梅村仁(産業振興課) / 吉田淳史(協働参画課)(以上、尼崎市)

牧田美佐穂 / 高島弘和 / 田口びよん吉(以上、福井市) / 堅木康弘 / 木村昭興(以上、柏原市)
 後藤好邦 / 松沢 聖 / 奥山敏行 / 小田賢嗣(以上、山形市)
 江口雅祥 / 平野誠也 / 島崎耕一(以上、三菱UFJRC&C(株))

SPECIAL THANKS

カイゼン甲子園運営委員1期生 / やるまいえじゃないかスタッフ / おもてなし運動スタッフ / はながさ ぐらんぷり実行委員